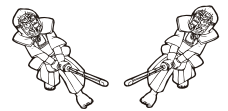




題字:細川武敏(41期)筆  
OB会報誌第27号  
令和元年12月1日発行  
制作:会報編集委員  
(株)上田ワードプロセス企画  
TEL. 0268-23-1122 (代)



### 至高の望みを胸に



会長 春原和民(六十四期)

今年、「改元」  
という節目の年であ  
りました。OB会員の皆さんに  
は、それぞれの分野で活躍のこ  
とを存じます。また、十月の台風では千曲  
川水系を中心とする風水害に遭われた  
方々には、心よりお見舞いを申し上げ  
ます。

さて、現役生の今年度の活躍を顧み  
るに、県大会での男子団体は、強豪が  
ひしめく中でベスト8と健闘してくれ  
ましたことはOB会としても喜ばしい  
戦績でした。

また、女子では、小出磨奈さん(二  
年生)が県大会で三位、北信越大会で  
ベスト8という大活躍で、来年への期  
待を持たしてくれました。OB会をあ  
げて応援したいと思えます。

#### 【運動部OB連合会について】

来年は、運動部OB連合会の会長当  
番となります。近頃の運動部の仕組  
み、活動形態は多様化しており、母校  
の施設を使って同僚と共に汗を流す  
という従来型の班ばかりでなく、地元  
のクラブチームで育ち、今もその施設を

利用して日々の練習をする生徒もあり  
ます。

また、OB会も連合会に未加入の運  
動班があり、財源強化の問題や、現役  
生への支援金の支給の公平性等の諸課  
題を抱えております。

これらの問題は、諸要因が絡んで生  
じており根深い課題であり、解決には  
時間を要するものと思われませんが、運  
動部の更なる躍進を願う気持ちは皆が  
同じでありますから根気よく任務を果  
したいと念じております。

文末となりますが、以上の活動をす  
るために、剣道班OB会員の皆さんの  
ご協力を切にお願い申し上げます。

### 活動報告

幹事長 唐澤 信広(八十八期)

令和元年度のOB会活動について、ご  
報告いたします。

平成30年度に引き続きOB会のホーム  
ページ、メールアドレス登録者へのメ  
ルマガによる通知を行い、個々への郵  
送はいたしませんでした。

6月29日(土)、上田高校体育館に  
おいて宮下杯争奪戦・稽古会、上田温  
泉ホテル祥園において、総会・懇親会



が開催されました。  
宮下杯争奪戦・  
稽古会につきまし  
ては、当日職務の  
ため欠席させてい  
ただきました。参加した役員の方々  
よりお聞きしたところ、昨年に引き  
続き、若林顧問の指導の下、現役生が  
日ごろの練習の成果として立派な演武  
を披露してくれたとのことでした。特  
に、諸先輩方の前で演武することは、  
現役生の皆さんにとり大変貴重な体験  
であったと思います。

また続いて行われた争奪戦も、鋭い  
打ち込みとこれまでの練習の成果が出  
ており、成長を感じることができた  
の意見をお聞きしました。

引き続き行われた稽古会では、参加  
いただいたOB会員と現役生との稽古  
では、大勢の高段者を行うことがで  
き、現役生にとつて非常に貴重な経験  
となつたと思います。またOB会員同  
士の稽古も行われ、久しぶりに竹刀を  
合わせることは楽しみであり有意義な  
稽古となつたのではないのでしょうか。

その後、上田温泉ホテル祥園に移動  
してOB会総会並びに懇親会を開催し  
ました。昨年も心配していたことで  
すが、出席者が少なく次年度以降出席者  
をどのようにして増やすか、会費収入  
をどのように増やすかが大きな課題と  
なりました。

総会では、春原和民会長(64期)の  
挨拶に続き、平成30年度事業報告・決  
算報告を行い、ご承認いただきました。  
引き続き令和元年度の事業計画・予算  
についてもご承認いただきました。  
総会出席者の減少と会費納入者の減少



宮下杯開会式

等の課題解決が重要ですが、今後もO  
B各位のご理解とご協力をいただきな  
がら、役員それぞれが力を発揮してま  
いります。ぜひとも総会等への出席を  
お願いいたします。

「剣風」の発行につきましては、例  
年担当役員を中心に、企画、原稿依頼・  
準備、編集を行っております。27年度  
から過去のOB会費納入者、高校卒  
業者等の一定の条件を付したうえで  
送りさせていただきます。情報  
発信手段として大変重要であることは  
重々承知しておりますが、経費面を考  
慮した上での対応とさせていただきます  
おりますので、引き続きご理解と会費  
納入へのご協力をお願いいたします。

次に、上田高校運動部OB会連合会  
事業についてご報告いたします。  
平成31年1月26日(土)の幹事会に  
引き続き、2月23日(土)に上田温泉  
ホテル祥園にて行われた総会には、当  
会からも6名が出席しました。  
総会においては、事業・決算報告、

事業計画・予算案等が審議、承認され  
ました。OB会正副会長、事務局は持  
ち回りとなっております。平成30年度より  
当会春原会長がOB会連合会副会長に  
就任していますが、令和2年度は剣道  
班OB会の順番にあたり、春原会長が  
OB会連合会会長に就任し、当班が事  
務局も引き受ける予定ですので会員の  
皆様にはさらなるご協力をお願いいた  
します。

またOB会連合会事業として、春と  
秋の2回ゴルフコンペを開催して  
おります。当会からも有志の方々にご参  
加いただいておりますが、参加者が3名  
以上になると団体戦にエントリーでき  
るようになります(2名以下の場合、  
個人選のみとなります)。来年度は幹  
事班となります。OB会ホームページ、  
メルマガ等で開催のご連絡をさせて  
いただきますので、例年よりも大勢の皆  
様のご参加をお願いいたします。

最後に、幹事長として1年が終わる  
うとしていますが、役員として会員の  
皆様のご参加をお願いいたします。



現役生全員による剣道形演武

皆様のご協力をいただき、何とかやつてこられたかな、と感じております。引き続き幹事長としてお世話になります。これからも O B 会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。活動報告とさせていただきます。



宮下杯表彰式

### 訃報



O B 会元副  
会長・元幹事  
長の工藤武和  
先輩(67期)が  
十一月二十二  
日逝去された。享年六十九歳。

工藤先輩は O B 会に長年携わり、特に幹事長としての会の運営を切り盛りして頂いた。(株) ジェー・ピー・イー 代表取締役会長として精力的に仕事をこなし、地元においても自治会長として地域のために活躍されていた。まだまだ現役でお若いのに残念でならない。ご冥福をお祈りいたします。

(平成 31) 令和元年・2 年度・役員

顧問	54 期	桑澤俊猛
名誉会長	61 期	羽田敏幸
会長	64 期	春原和民
副会長	65 期	若林健(総務担当)
幹事長	71 期	柳沢 収(会員担当)
副幹事長	76 期	佐藤博(広報担当)
幹事	82 期	近藤敏明(指導担当)
幹事	86 期	唐澤 信広
幹事	80 期	正村 聖美
幹事	87 期	金森 健志
幹事	93 期	坂下 繁行
幹事	105 期	矢ヶ崎 心哉
幹事	106 期	森角 遥
幹事	104 期	福澤 雄史
幹事	86 期	吉田 昭雄
幹事	72 期	竹内 茂直
幹事	86 期	柳澤 哲
幹事	86 期	若林 康彦
幹事	86 期	高柳 剛士
副幹事長	75 期	渡邊 隆信
副幹事長	77 期	山崎 完爾

(退任役員長い間ありがとうございました。)

### 全剣連専門委員会活動報告 1

(六十四期) 宮坂 昌之



アンチ・ドーピング委員会委員長  
ドーピングとは、競技者の体力向上や技術向上を目的として、禁止されている薬物や

方法を用いることです。禁止物質や禁止方法に依存することは、正々堂々の精神に反するものであり、競技の価値を損なう反社会的な行為です。ドーピングにより、さまざまな障害(たとえば、肝障害、腎障害、幻覚、脳血栓、

糖尿病など)が見られ、最悪の場合には突然死が起ることもあることから、ドーピングはすべての競技で禁止されています。

剣道においても、全剣連「剣道試合・審判規則第 15 条」により「禁止物質を使用もしくは所持し、または禁止方法を実施すること」が禁止されています。

また、同・細則第 14 条では「規則第 15 条の禁止物質および禁止方法とは、世界ドーピング防止機構(WADA)の最新の禁止表に掲載されているものを」と明記されています。

ところが、ドーピングに関する規則は専門用語が多く、理解しにくい、としばしば言われます。実際、禁止物質、禁止方法が掲載されている世界アンチ・ドーピング機構(WADA)や日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のサイトを見ると、難解な言葉が多く、専門の医師、トレーナーですら首をひねるような状況が確かにあります。

そこで、当委員会は、一般の剣道愛好家、指導者、選手などのために、『剣士のためのアンチ・ドーピングマニュアル』を作成しました。このマニュアルでは「なぜドーピングが悪いのか?」「ドーピング検査とはどんなものか?」「ドーピング違反と判定されたらどうなるのか?」「お薬を飲んだり、塗ったり、貼ったりする時にドーピング違反にならないようにするにはどうしたらいいか?」など、ドーピングに関して剣道愛好者が知っておくべきことについて、わかりやすく解説を加えると

ともに、サプリメントの思わぬ危険性についても解説しています(サプリメントには禁止物質が混入していることがあり、下記の「うっかりドーピング」の原因となることがあります)。このマニュアルは全剣連オンラインショップから 300 円で購入できます。また、全剣連ホームページからは PDF 版を無料でダウンロードできますので、ぜひ、一度ご覧ください。

これまで、他競技で見られたこととして「うっかりドーピング」というものがあります。これは、競技会に出る選手が普段服用しているお薬やサプリメントに禁止物質が含まれていることを知らずに摂取し、検査を受けて陽性となった、というものです。現在の規則では、非意図的なものであつたとしても、違反者には 2 年程度の資格停止処分が科せられます。これは選手にとっては大変なことです。このため、当委員会では全剣連ホームページに「注目・うっかりドーピングを避けるために」という項目を設け、うっかりドーピング防止のための具体的な方策を一つ一つわかりやすく示しています。是非、ご覧ください。

この他に、全剣連ホームページにはさまざまなアンチ・ドーピング情報を掲載し、必要に応じてその内容をアップデートしています。たとえば、このサイトには、日本スポーツ協会作成の「アンチ・ドーピング使用可能薬一覧」や日本薬剤師会発行の『薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック』の最新版が掲載され、日本で販売されてい

るお薬のどれが使用可能かを、剣道愛好者の方がご自分で調べていただくことができます。また、当委員会では、委員が順番で、アンチ・ドーピングに関する平易な解説記事を書いて『剣窓』に掲載をお願いしていますが、このバックナンバー記事もこのサイトに掲載されています。

また、ドーピング検査が行われる特定の試合に出場する選手の中で、禁止されている医薬品の投与や禁止方法による治療を受けざるを得ない場合があります。この際には、治療使用特例(TUE)という書類を試合前に提出する必要があります。このために必要な手順も上記サイトに掲載されています。

最後に、当委員会は、医・科学委員会と連絡を密にすることにより、世界大会代表の選抜につながる男女の強化訓練講習会に参加する帯同医、コーチに対して最新のアンチ・ドーピング知識の共有が可能になるように努めています。以上、活動報告をさせていただきます。

※編集者注…著作者の許可を得て原文を改変せずそのまま掲載しました。(全剣連 月刊剣窓令和元年 5 月 1 日号)

### 全剣連専門委員会活動報告 2

(六十四期) 宮坂 信之



医・科学委員会委員長  
1. はじめに  
医・科学委員会は、医学の知識を持ちながら科学的



に剣道の修練を行うことを願ひ、剣道の普及・啓発のため、さらには「生涯剣道」のために活動を行っています。

2. 活動状況

1) 剣道障害に対する啓発活動
昨今、わが国は高齢社会となり、65歳を超える人は3割を超えようとしています。また一方で、少子化傾向を反映してか、青少年の剣道離れが憂慮されています。これに対して、当委員会としては「生涯剣道」を安全に実践するための普及・啓発活動を行っています。

すでに『救急医学ハンドブック』第3版及び『剣道医学Q&A』第3版が刊行をされていますが、このうちの主だった項目を全日本剣道連盟のホームページに掲載しています。具体的には、全剣連のホームページの「剣道・居合道・杖道を知る」をクリックすると、「剣道と医・科学について」の中で、右記の主だった項目を閲覧ができるようになっていきます (https://www.kendo.or.jp/knowledge/medicine-science)。今後はさらに掲載する項目を増やして掲載して行き、最終的には冊子体から電子配信に切り替える方針でありますが、広報担当の部署と密接に連携を図る所存です。

ドできるようにしました。このスライドを使うことで、各地で行われる講習会などでの安全対策の普及活動の一助にさせていただければ幸いです。

アンチドーピング委員会(宮坂昌之委員長)とも密接に連携をし、剣道におけるアンチドーピング(ドーピングの禁止)の啓発活動を行っています。

2) 全剣連強化訓練講習会への帯同医師の派遣

第17回世界剣道選手権大会では団体戦、個人戦とも日本が男女アベック優勝を果たしましたが、その陰には帯同医師とトレーニングコーチのサポートがありました。当委員会より男女の強化訓練講習会に帯同医師を派遣し、強化訓練生及びコーチの健康の維持・管理、スポーツ外傷の早期発見・早期治療などにあたっています。帯同医師は、医・科学委員会及び協力医師9名が担当し、その情報はトレーニングコーチとも共有することで、剣道障害あるいは外傷に対する処置、リハビリ、予防などに役立てています。また、強化訓練生にスポーツ障害などが生じた場合には、全日本医師剣道連盟のネットワークを利用して全国の専門医の紹介を行っています。なお、個人情報保護の観点から、強化訓練生のデータはID及びパスワードによって厳重に管理をしています。また、帯同医師の業務内容を標準化するために、帯同医師業務手順マニュアルを作成しています。

3) 剣道具・竹刀の安全性の検証
昨今、実戦性を重んずるあまり、竹刀を削り、重量不足を附属品(先皮、柄皮など)で補う、小手の筒の長さを短くする、などの風潮がみられております。これでは剣道の公平性・安全性が担保されません。このため、昨年より「竹刀及び剣道具安全性検討特別小委員会」が設置され、本問題の調査・検証を行っています。医・科学委員会からは宮坂信之委員長と武藤健一郎幹事が参加をし、特に安全性遵守の観点から議論が続いています。結論については漸次、全剣連から発表される予定です。

3. おわりに
医・科学委員会は、「生涯剣道」の実践に寄与貢献するべく、今後とも活動を継続して行く所存です
※編集者注・著作者の許可を得て原文を改変せずそのまま掲載しました。(全剣連 月刊剣密令和元年5月1日号)

正月のOB会幹事より

大石峻也(百十四期)

年号が変わり記念すべき令和二年一月二日のOB稽古会および懇親会の幹事を務めさせていただきました。114期の大石峻也です。現在青森県の弘前大学にて臨床検査技師になるべく勉学に励んでおります。弘前は冬が長いですが緑も多く、四季の移ろいは長野と似ており親しみを覚えます。春は弘前城の桜、夏はねぶた祭、秋は紅葉、冬は豪雪といったように季節の変化を愉しんでおります。

私は剣道部に所属しており、一時間程度の稽古が週二回と限られています



114期 大石峻也

ので、上田高校時代のように質を意識しようという心がけ取り組んでおります。二ヶ月に一回は大会や遠征などがあがり、その都度行われる異学年異学部間交流にも積極的に参加し、有意義に過ごしております。二年生となり、専門科目の座学のみならず実習も増え、レポートやテストに追われていくら時間があっても足りず焦りもありますが、新たな発見の連続でやりがいも感じております。少し前には動物実験をする機会もあり、マウスにヒツジの血液を投与し、ヒツジ血に対する抗体を作らせマウスの脾臓を取り出してB細胞を抽出するというものがありました。基礎的な実験でありましたが、非常に神秘的で命の大切さや重みというものを改めて実感することとなりました。医療従事者を目指す者として重要な一歩を踏み出したのだと、思いを新たにしました。次年度から臨床実習が始まり、研究室の配属も決まります。置かれていた環境や支えてくださる皆さまへの感謝の気持ちを忘れず、様々なことに興味を持ち、試百難の心構えで挑戦し続け経験を重ねていきたいです。迷い、あがき、紆余曲折しながら歩んできた

諏訪大社と守屋山に 物部氏を偲ぶ

日置電機(株) 営業企画課グローバル担当部長:元HOKI-INDIA 副社長 中山 宏

物部の 八十少女らが 汲みまがふ 寺井の上の 堅香子の花 もののふの やそおとめらが くみまがふ てらいの上の かたかごの花 (大伴家持:万葉集巻十九 41)

剣道の歴史を振り返ってみる時に、我々はその根源を武士道に求める事が多い。武士とは何か? 天皇を護衛し国策を実施するための戦闘集団(軍隊)のことである。この武士という漢字にはもう一つの読み方があり、「ものもの」とも読む。「ものもの」とは何か? 物部氏のことである。その証拠の一つは、冒頭の大伴家持の万葉集の詩歌にも表れており、「ものもの」という言葉は「物部の」と書き、八十少女らに掛かり朝廷武官(物部氏)の事であり、数が多いことを表す枕言葉として使われている。古来、物部氏は日本で最も人数が多い武士集団であり信濃にゆかりのある一族だったことが偲ばれる。しかるにその物部氏が歴史の表

時間や過程、また、コンプレックスでもある浪人生活も含め、自分のかけがえない財産だと胸を張って言える日が来るように努力を惜しまず邁進したいと思ひます。 最後になりますが、上田高校剣道班のますますの発展を祈念いたします。



守屋神社 (伊那市高遠町)

ミシヤク  
し登ると  
あり、縄  
文時代か  
ら続く、  
日本最古  
の神社と  
しての趣  
が偲ばれ



神長官守矢史料館 (茅野市宮川)

とが予想  
される。  
そのため  
か東山道  
は地方で  
も道幅6m  
から12mの  
古代日本  
一の軍時

あつたこ  
とが予想  
される。  
そのため  
か東山道  
は地方で  
も道幅6m  
から12mの  
古代日本  
一の軍時

とが予想  
される。  
そのため  
か東山道  
は地方で  
も道幅6m  
から12mの  
古代日本  
一の軍時



第27回県実業団・官公庁大会  
優勝 県職女子チーム

舞台から去り影の支配者となるのは、物部守屋と蘇我馬子(聖徳太子)の崇仏/廃仏論争(蘇我物部戦争)に敗れたためと言われている。この丁未の乱は用明天皇2年(587年7月)の事であった。守屋は弓矢に当たり死亡しその後、その首は四天王寺に埋葬され現在も守屋祠として鎮魂されている。また長野市善光寺の本堂の中心には正方形の大黒柱があり、これも守谷柱と言われ四天王寺と同じく物部守屋の鎮魂の場として信仰されている。善光寺の戒壇巡りは守谷氏の御霊(守屋柱)に結界を張り、物部守屋の魂を鎮める神事とも言われている。

信州にもゆかりの深い物部一族郎党は東山道を東に向かい、神坂峠を越えて信濃に入り、伊那・高遠の杖突峠から諏訪に入った事になっている。これは、物部氏は饒速日命(始祖)の時代から長髓彦と洩矢神と親戚関係にあったからである。諏訪大社のもともとのご神体の一つは守屋山(洩矢山)であり、現在も頂上に守屋神社(奥宮)が安置されており、里宮は杖突峠を伊那に向かって下った高遠町藤沢152号線沿いにある物部守屋神社があり、また神長官守矢史料館を守屋山に向かって少し登るとミシヤクジ神社があり、縄文時代から続く、日本最古の神社としての趣が偲ばれ

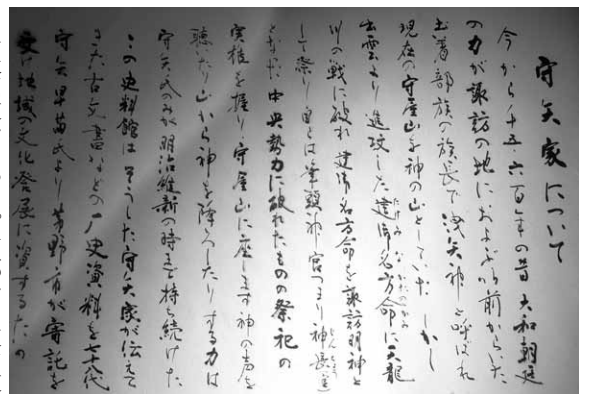


守屋神社 (伊那市高遠町)

一般的には、諏訪大社の主祭神は、建御名方神とその妃・八坂刀売神であることは周知の事実であるが、建御名方神が諏訪に到着した時、既に諏訪の地に鉄の輪を持つ洩矢神(地母神)が居て、戦いに勝った建御名方神が諏訪大社を開いたという事になっているが、それ以前の洩矢神(ミシヤクジ信仰)の神社も温存され、諏訪大社の社殿近くに今でも一緒に祭られており、大祝家と守矢家によつて守られてきた。

守矢家と物部氏は昔から親戚であり、その縁をたよりに物部守屋の次男・武磨がこの地(高遠町藤沢&古屋敷)に引越して来て物部守屋神社を創建し、守矢家の養子になったようだ。長野県には御牧ヶ原に望月大伴氏が居住し馬の飼育をしていたし、物部関係者も太古より多数居住して古代の軍隊(ものぶ)が勢揃いしていた県であつたこととが予想される。そのためか東山道は地方でも道幅6mから12mの古代日本一の軍時

武磨がこの地(高遠町藤沢&古屋敷)に引越して来て物部守屋神社を創建し、守矢家の養子になったようだ。長野県には御牧ヶ原に望月大伴氏が居住し馬の飼育をしていたし、物部関係者も太古より多数居住して古代の軍隊(ものぶ)が勢揃いしていた県であつたこととが予想される。そのためか東山道は地方でも道幅6mから12mの古代日本一の軍時



【参考文献】  
・第十九巻:413;ものぶの八十娘子らが汲みまがふ 寺井の上の 堅香子の花  
<https://art-tags.net/manyo/nineteen/m4143.html>  
・丁未の乱(ていびのらん) 崇仏/廃仏論争(蘇我物部戦争)  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/https://woodlandsaver.blog.fc2.com/blog-entry-6.html>  
・物部守屋と信州善光寺  
<http://woodlandsaver.blog.fc2.com/blog-entry-6.html>  
・幻想に彩られた元祖諏訪明神「ミシヤクヂ」。その意外な正体とは?  
<https://topics.sml.docomo.ne.jp/article/tenkipj/trend/tenkipj-29550>  
・物部守屋を祀る物部守屋神社 伊那市高遠町藤沢  
<http://yatsu-genjin.jp/suwatatsya/sampo/moriya.htm>

物部氏の母方の先祖の長髓彦(ながすねびこ)と洩矢(もれや)の神  
[https://kodai-shi.net/person/ clan/monobonemoriya\\_3](https://kodai-shi.net/person/ clan/monobonemoriya_3)  
・物部守屋の子孫を祭る諏訪の古墳  
<https://kodai-shi.net/kofun/moriya>

### 第二十七回長野県実業団・官公庁親善剣道大会に出場して

(百十三期 岡田 浩太郎)  
上田高校剣道班113期の岡田浩太郎と申します。この場を借りまして、私の近況報告をさせていただきます。  
私は昨年3月に大学を卒業し、今年度より長野県職員となり、新社会人として慌ただしい日々を送っております。高校3年生で剣道班を引退して以来、剣道からは遠ざかっていましたが、諸先輩方からお誘いの声をかけていただいたこともあり、長野県職員剣道部へと入部し、実に約5年ぶりの剣道復帰を果たしました。(とは言っても1、2か月に1回程度しか参加できていませんが。)

そして10月には第27回長野県実業団・官公庁親善剣道大会へ出場してきました。この大会では個人戦と団体戦がそれぞれ行われましたが、個人戦では久しぶりの大会の雰囲気や緊張感に飲み込まれ、何もできないまま一回戦で敗退してしまい、悔いの残る結果となりました。団体戦ではなんと初戦に、同じく113期の同期である正村薫との試合となりました。結果は私が面を取らず、何とか逃げ切ったのギリギリの勝利でした。久しぶりの大会だったとは

いえ、絶対に負けたくない試合だったので勝ってよかったです(笑)この試合で緊張も解け、団体戦における個人成績としては、3勝1敗と勝ち越すことができ、県職剣道部の決勝トーナメント進出、ベスト8という結果に少しは貢献できたのではないかと感じています。そして、剣道を再び始めるうえでの自信にもつながる大会となりました。また同大会では、県職剣道部の先輩であり、そして上田高校剣道班の106期の先輩でもある森角通先輩(旧姓:滝浪)が女子個人戦と女子団体戦に出場し、個人・団体ともに優勝を果たしました。遠間から飛び出す面は圧巻で、今もなお活躍し続ける先輩の姿に、私まで誇らしい気持ちになりました。今回久しぶりに大会へ出場したこと、剣道の難しさやおもしろさ、体力の衰え、そして同期や先輩方とのつながりを改めて認識することができました。これからも剣道を通して多くのことを学び、感じていければいいと思います。今後ともよろしくお願いたします。



# 剣道今昔

## 令和元年を迎えて



上田高校剣道班顧問  
若林 康彦

OB会の諸先輩におかれましては日頃より上田高校剣道班へ、物心共々のご協力を頂きありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、本年度の剣道班の主な戦績ですが、春のインターハイ予選、男子団体では東信大会三位、県大会五位。女子団体では東信大会三位、県大会ベスト十六。男子個人では松場幹矢君が県大会出場。女子個人では小出磨奈さんが東信一位、県大会三位(北信越大会出場)

新人大会においては、男子団体では東信大会三位、県大会ベスト十六。男子個人では安藤成寿君が県大会出場、山岸大悟君が五位という戦績でした。

年度内の公式戦は来年一月十二日に行われる県抜大会

## 「今」

平成三十一年〜令和元年

県予選大会を残すのみと成りましたが、今後更に精神力、体力、技術力の向上を計らせ、上位入賞を目指したいと思っております。

いずれにしても課題はいかに班員の数を増やすと言ふことにあると思います。大勢の中で「切磋琢磨」させることが今後の競技力を高めることに繋がると考えております。

その為十二月に近隣の中学校を集めて「中学校練成会」を上田高校で開催し(高校生が主に成って計画・運営)、中学生に上田高校剣道班の素晴らしさをアピールしているわけですが、中々意に沿う結果は得られておりません。このことに関しましても今後更に先輩方のお力を頂きたいと願っております。

以上、本年度の戦績と合わせて現状を報告させていただきました。

宜しくお願い致します。

下の記事、明治四十四年の翌年七月三十日、大正元年に改元されます。今から108年前の出来事です。

## 「昔」

明治四十三年〜四十四年

明治四十四年一月十六日より二月十六日まで満三十日間寒稽古したり此の間烈寒を冒して一日の如く怠りなく出勤せし熱心家に名譽ある皆勤書を授與せられたり即ち左の諸者

- 田島得山 北澤注 北澤五郎 倉田收
- 工藤頑三 天田六郎 以上六名

### 聯合運動會

嗚呼十月十五日來る！我が校の勇者五名即ち山本寛諏訪武雄、瀧澤仲治、西澤重明、佐藤一郎の壯士やがて太刀の光キラリと佐藤君徐に敵に向ひしも君は今年始めての軍大奮闘をなせど天ある哉敵(飯田中)北澤壽君に破る。次に偉大の体軀をもたらし立ては西澤君敵は師範新井廣君亦劣らざる体軀を動して之にあたるも惜き哉勝を見る事を得ずして引き分けとなる。次に瀧澤君昨年は長中の彼も敗れしが今年亦そは長刀をおつ取るや否や



### 擊劍部記事

○本年度助手に左の諸氏命せらる

- 瀧澤仲治 佐藤一郎 田島得山 北澤注
- 北澤五郎

○春季競技會 五月廿九日小野田先生審判の許に開かる

◎三本勝負(總て二十一組中重なるもの)

- ×(青木一男 高木四郎) ×(瀧在藤治 天田六郎 木島忠雄) ×(小林英雄 柳澤進 堀入万吉) ×(堀千足 柳澤泰 西澤君雄) ×(三井駿二郎)
- (田島得山) ×(北澤注) ○(北澤注) ×(佐藤一郎)

◎一本勝負三人抜 勝者

- 世良田勇 瀧澤憲一 有賀松夫 小池秀雄
- 青木一男 北澤注

○六月七日 松本北深志奏の馬場劍士菊部徳次郎氏來校試合ありたり

○野澤對我が校試合 十月一日我が校に於て小野田先生審判の許に舉行せらる

- 1(前島純夫(野中)) ○2(神津辰雄(野中))
- 北澤注 ○北澤五郎
- 3(飯島豊秋(野中)) ○4(岡本喜代助)
- 田島得山 ○佐藤一郎
- 5(岡本潔) ○6(飯島豊秋)
- 北澤五郎 ○瀧澤仲治
- 7(前島純夫) ○8(岡本潔)
- 小林孝四郎 ○三井駿一郎
- 9(岡本喜代助) ○10(神津辰雄)
- 北澤注 ○佐藤一郎

○本年度助手追加せられたるもの左の如し  
小林孝四郎 三井駿一郎

○十月三日 伊藤長三氏を助教として聘したる照會の式ありたり

○聯合運動會 十月十五日松本中學校内に於て舉行せらる我が校の劍士諸君必死の勢を以て戦つたれど時に利あらず

○十一月三日 無牌受領者左の如し  
瀧澤仲治 佐藤一郎 北澤注

○十二月八日 明治大學校生徒擊劍部選手高野良夫氏來校試合ありたり

○寒稽古皆勤者 寒風膚を刺す極寒の日二十有餘日の間一日の欠席もあらず熱心ノ斯道に勉勵し皆勳証授領の榮を得たる諸君左の如し

- 伊藤先生(特別) 高木四郎 高橋忠敬
- 瀧澤高見 倉田保 倉田收
- 工藤基 深井進 瀧在藤治
- 堀内匠 宮澤甲子太郎

伊藤長三先生  
著

# 宮下杯優勝者の声

【男子優勝】二年百十九期 男子班長

山岸 大悟

剣道班は現在、二年生四名、一年生三名の計七名で活動しています。北信越大会出場を目標に掲げ、短い時間の中でお互いに切磋琢磨し、技術・精神力の向上に努めながら日々稽古をしています。

剣道の試合では、勝敗をつける際に「一本」を取らなくてはなりません。この「一本」を取るためには、「充実した氣勢と適正な姿勢で、竹刀の打突部で相手の打突部位を刃筋正しく打突し、かつ残心あるもの」という条件を満たさなくてはなりません。これは誰にでもすぐに出来ることではないと思います。日頃の稽古の積み重ねが試合審査などで「一本」を生み出すと思います。剣道は相手がいて、その相手から「一本」を取らなくてはなりません。ここぞという時の「一本」を取れるよう、日頃の稽古でも一つ一つの練習で「一本」になる打ちをすることを意識しています。

しかし、ただ良い打ちをすれば「一本」に繋がるわけではありません。打突に入る前の攻めが大切です。この攻めで相手を崩したり引き出したりし、そこにできた一瞬の隙を狙い一本にするのです。攻め方というのは自由であり、創造力を膨らませながら稽古をしています。また、連続技の練習を多く取り入れることで打って「一本」にならなかつた時の次の動きを意識し、試

合でも発揮されるように練習しています。

最後に、顧問の先生方、OBの先輩方には日頃から熱心なご指導を頂き、感謝しています。また保護者の方々にもバックアップをして下さり大きな支えになっていきます。私たちが、日頃稽古できる環境があることに感謝をし、少しでも期待に応えられるよう日々精進していきます。

【女子優勝】二年百十九期 女子班長

小出 磨奈

「面を着けたら厳しく、面を取ったら優しく」という言葉を聞いたことがあります。今の剣道班を表すぴったりな言葉だと私は思います。稽古になると雰囲気が変わります。自分が辛くなって手を抜きそうな時でも、そこをこらえて全力で動く人がいます。こういう人がいると、私も頑張ろうと思えてなんとかやれるし、周りに良い影響を与えていると思います。そして面を取れば、優しい人ばかりです。この班は、頑張れる優しい人がたくさんいます。本当に素晴らしいことだと思います。尊敬すると同時に、私は幸せだと思います。

夏の本大会まで、あと約半年です。もつともつと私達はやれると思います。目標に向かって全員で頑張ります。



宮下杯優勝、準優勝の各位



## 連絡事項

一月二日OB会のお知らせ

日時 令和元年 一月二日

● 集合二時、試合開始二時半

終了後合同稽古会

会場は上田高校体育館

● 午後六時、懇親会 上田温泉 祥園

(五時半より受付) 会費5000円

※幹事(百十四期) 大石 峻也

080・9553・2985

● 来年度会費納入のお願い ●  
会費(三千元) 納入は六月の総会後一ヶ月以内、七月末までに左記の方法でお願い申し上げます。※ご寄付は随時受付けております

(1) 郵便振替用紙での送金

郵便振替 口座記号番号

00510・6・50693

加入者名: 上田高校剣道班OB会

(2) 銀行口座へのお振込み

八十二銀行 上田支店

口座番号: 1014425

名義: 上田高校剣道班OB会

※卒業期とお名前の記入をお忘れなく

令和二年度OB会総会  
6月27日(土) 予定

○住所変更の方は幹事長まで

八十六期 唐澤 信広

〒389-0512

東御市滋野乙三〇〇六  
事務局 uken\_ob1955@gmail.com